

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	2RF-2201
研究課題名	梨の温暖化適地を活用した耕作放棄地削減マップの作成
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	鳥取大学
研究代表者名	竹村圭弘

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

農業生産条件の不利を理由の一つとされる耕作放棄地を対象に、温暖化により低標高地から中標高地へと適地が変わると予測される梨の産地移行の調査を目的とした研究であり、作成された耕作放棄地マップは、ち密に整備されている。また、マップ作成の際の手法も応用可能性が高いと評価できる。一方で、どのような品種による再活用が最適になるのか、また、並行して行う可能性のあるインフラ対策の詳細が示されておらず、得られた結果の確度を評価する資料の発信が不足しているように見受けられる。査読付き論文を通じた成果の発表も含めて、今後、得られた成果の発信と学術界による評価の確保を進めてもらいたい。